

福井大学 地域貢献事業支援金 成果報告集

令和7年度



国立大学法人 福井大学

地域創生推進本部

Headquarters for Regional Revitalization

事業一覧

1. ふくいの廃棄物を利用したコナラ実生コンテナ苗の
培地に関する研究
..... P 2
教育学部 准教授 守田 弘道
教育学部学校教育課程中等教育コース 3年 中弥 蒼乃

2. Another Morning Festival 2025 in Fukui
～こどもたちの医療、教育、福祉、芸術をみつめて、行動する～
..... P 4
医学部 助教 福元 進太郎

3. 福井市空き家情報バンク魅力向上プロジェクト P11
工学部 准教授 菊地 吉信
大学院工学研究科 2年 水野 峻輔

4. 足羽山ランタンプロジェクト P13
工学部 准教授 西本 雅人
大学院工学研究科 吉田 憲人

5. KUHUU展「凸凹」 P18
工学部 准教授 西本 雅人
大学院工学研究科 森田 慶助

ふくいの廃棄物を利用したコナラ実生コンテナ苗の培地に関する研究

事業責任者： 守田 弘道（教育学部・准教授）

代表学生： 中弥 蒼乃（教育学部学校教育課程中等教育コース・4年）

概 要	
概要	本事業の目的は、ふくいの廃棄物を利用したコナラ実生コンテナ苗の培地を開発することである。2024年度までに行ってきたコナラ実生マルチキャビティコンテナ（以下、コンテナ）苗の培地に関する研究成果をもとに、福井県総合グリーンセンター職員の協力を得ながら、新たな培地の開発を行った。バークともみ殻の培地、バークと鹿沼土の培地をつくり、ココピートと鹿沼土の培地とともに育苗試験・物理的性質の測定を行い、開発した培地の評価をした。2025年5月～コンテナ苗を育苗し、2026年3月に物理的性質を測定した。各培地の苗高、根元径、根鉢硬度平均を求めた結果、バークと鹿沼土の培地が標準培地の代替として有効であると評価できた。また、安定供給を視野に入れ、本事業と同じコナラを母樹として、種子の採取、重量選別、水選、芽出しを行い、重量2.0g～2.5gの種子で植え付け・育苗開始ができた。
関連キーワード	コナラ実生コンテナ苗、培地開発、サステナブル、ふくいの廃棄物

事業の背景および目的

本県においては、早生樹の育成方法確立や広葉樹の苗生産技術の開発が進められており、その一つにコナラがある。また、コンテナ苗の培地には、サステナブルな視点（コスト、安定供給、環境負荷）で課題がある。そこで本事業は、ふくいの廃棄物を利用したコナラ実生コンテナ苗の培地を開発することを目的とした。本事業を進めることにより、コンテナ苗の低コスト化及び安定供給、環境負荷の軽減、ふくいの森林保全が期待できると判断した。

事業の内容および成果

【コナラ実生コンテナ苗の培地開発】

2024年度までに行ってきたコンテナ苗の培地に関する研究成果¹⁾をもとに、福井県総合グリーンセンター職員の協力を得ながら、新たな培地の開発を行った。バークともみ殻を容積比8:2で混合した培地（以下、サステナ①）、バークと鹿沼土を容積比8:2で混合した培地（以下、サステナ②）をつくり、ココピートと鹿沼土を容積比8:2で混合した培地（以下、標準）とともに育苗試験・物理的性質の測定を行い、開発した培地の評価をした。各培地には元肥としてハイコントロール085 180日タイプを5g/l・10g/l施肥した。物理的性質の測定は、齋藤ら²⁾の研究を参考にした。2025年5月からコンテナ苗を育苗し、2026年3月に物理的性質を測定した。各培地の苗高、根元径、根鉢硬度の平均を求めた結果（表1～表3）、サステナ②が標準の代替培地として有効（低コスト、環境負荷の軽減）であると評価できた。今後は、各培地の土壌分析結果をもとに、評価を進めたい。また、岳野³⁾の研究を参考に福井大学構内の落葉と本事業で利用したバークと米ぬかで堆肥化試験を継続して行い、サステナブルな培地開発をしたい。

【コナラ実生コンテナ苗の追試験】

サステナ②が標準の代替培地として有効であると評価できた。しかし、安定供給ができるかを追試験で確認しておく必要がある。そこで、種子の重量がコンテナ苗の育成に影響することにも配慮し、追試験の準備を行った。2025年11月から本事業と同じコナラを母樹として種子の採取、重量選別、水選、芽出しをした結果、重量2.0g～2.5gの種子が数多く準備できた。加えて、2026年3月に重量2.0g～2.5gを追試験の種子として植え付け・育苗開始ができた。

表1 各培地の苗高の平均（単位：cm）

	サステナ①	サステナ②	標準
5g/l	41.4	49.6	42.2
10g/l	44.6	47.4	51.1

表2 各培地の根元径の平均（単位：mm）

	サステナ①	サステナ②	標準
5g/l	4.55	4.75	4.46
10g/l	4.20	4.81	4.73

表3 各培地の根鉢硬度の平均（単位：mm）

	サステナ①	サステナ②	標準
5g/l	2.95	5.61	4.61
10g/l	3.65	6.67	4.49

参考文献・添付資料および特記事項等

- 1) 山本竜・守田弘道・仲保要・木下輝雄・井上遥人・中弥蒼乃：環境に配慮したサステナブルなコナラ実生コンテナ苗の培地に関する研究，一般社団法人 日本産業技術教育学会 第35回（令和6年度）北陸支部大会講演要旨集，p.1（2024）。
- 2) 齋藤隆実・小笠真由美・飛田博順・矢崎健一・壁谷大介・小黒芳生・宇都木玄：スギコンテナ苗における根鉢の物理的性質の定量的評価，日本森林学会誌，101巻4号，pp.145-154（2019）。
- 3) 岳野公人：里山二次林の落葉を活用した堆肥化に関する素材研究-環境教育の教材開発に向けて-，環境教育，17巻3号，pp.54-59（2008）。

事業名称:ふくいの廃棄物を利用したコナラ実生コンテナ苗の培地に関する研究

事業責任者: 守田 弘道 (教育学部・准教授) 代表学生: 中弥 蒼乃 (教育学部学校教育課程中等教育コース・4年)

【目的】

ふくいの廃棄物を利用したコナラ実生コンテナ苗の培地を開発すること

関連キーワード: コナラ実生コンテナ苗, 培地開発, サステナブル, ふくいの廃棄物

【研究Ⅰ (コナラ実生コンテナ苗の培地開発)】

2024年度までに行ってきたコンテナ苗の培地に関する研究成果¹⁾をもとに、福井県総合グリーンセンター職員の協力を得ながら、新たな培地の開発を行った。

バークともみ殻を容積比(8:2)で混合した培地(サステナ①), バークと鹿沼土を容積比(8:2)で混合した培地(サステナ②)をつくり、ココピートと鹿沼土を容積比(8:2)で混合した培地(標準)とともに育苗試験・物理的性質の測定を行い、開発した培地の評価をした。各培地には元肥としてハイコントロール085 180日タイプを5g/l・10g/l施肥した。

¹⁾ 山本竜・守田弘道・仲保要・木下輝雄・井上遥人・中弥蒼乃: 環境に配慮したサステナブルなコナラ実生コンテナ苗の培地に関する研究, 一般社団法人 日本産業技術教育学会 第35回(令和6年度)北陸支部大会 講演要旨集, p.1 (2024).

●研究Ⅰの評価

各培地(図1)の苗高, 根元径, 根鉢硬度の平均を求めた結果(表1~表3), サステナ②が標準の代替培地として有効(低コスト, 環境負荷の軽減)であると評価できた。

表1 各培地の苗高の平均(単位:cm)

	サステナ①	サステナ②	標準
5g/l	41.4	49.6	42.2
10g/l	44.6	47.4	51.1

表2 各培地の根元径の平均(単位:mm)

	サステナ①	サステナ②	標準
5g/l	4.55	4.75	4.46
10g/l	4.20	4.81	4.73

表3 各培地の根鉢硬度の平均(単位:mm)

	サステナ①	サステナ②	標準
5g/l	2.95	5.61	4.61
10g/l	3.65	6.67	4.49

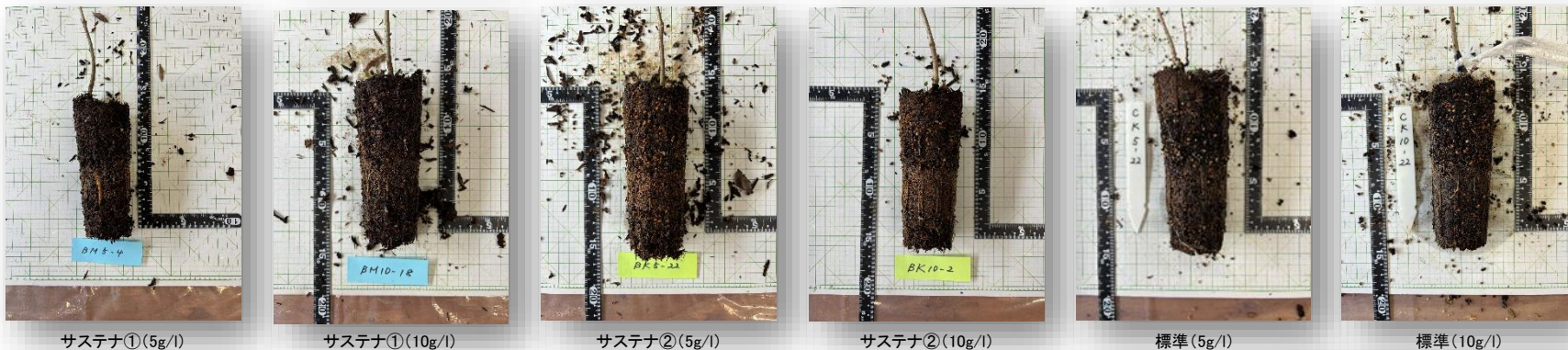


図1 各培地の根鉢例

【研究Ⅱ (コナラ実生コンテナ苗の追試験)】

安定供給ができるかを追試験で確認しておく必要がある。そこで、種子の重量がコンテナ苗の育成に影響することにも配慮し、追試験の準備を行った。

●研究Ⅱの評価

2025年11月から本事業と同じコナラを母樹として種子の採取, 重量選別, 水選, 芽出しをした結果, 重量2.0g~2.5gの種子が数多く準備できた。加えて, 2026年3月に重量2.0g~2.5gを追試験の種子として植え付け・育苗開始ができた(図2)。



図2 追試験開始の様子

Another Morning Festival 2025 in Fukui

- 子どもたちの医療・教育・福祉・芸術をみつめて行動する -

事業責任者： 福元進太郎（医学部、助教）

概要	2025年11月29日、30日の2日間、福井大学 文京キャンパスで、「子どもたちの医療・教育・福祉・芸術」をテーマにしたフェスティバルを開催した。 1日目は、子どもに関わる多職種の支援者による講演会を実施した。職種や職場の垣根を超えて様々な分野について学びを深め合い、今後のよりよい連携の足掛かりを作ることができた。 2日目は、子どもから大人までだれでも参加できるイベントで、子どもたちによるステージ（音楽、ダンス、演劇、ファッションショー）、子どもの支援に関わる諸団体や大学生らによるブース出展を実施し、多くの来場者で賑わった。
関連キーワード	子ども、医療、教育、福祉、芸術、多職種連携、多機関連携

事業の背景および目的

事業責任者は、児童精神科医として児童・思春期の外来および入院治療に関わっているが、子どもたちの心身の健康のためには、医療のみでなく福祉や教育といった様々な分野との連携が重要であると感じている。また、児童養護施設や特別支援学校で、子どもたちと一緒に楽器演奏を楽しむ活動を継続的に実施しており、芸術活動によるメンタルヘルスや自尊心向上の効果を強く感じている。

各機関において、多職種カンファレンスなどが開かれていることはあるものの、現場の関係者からは、「ほかの分野の関係者らが、どういったことを実際にやっているのか、よく分かっていない」といった声を多く耳にした。子どもに関わる関係者らが、「職種の垣根を超えて」学びを深め合うことがよりよい連携にとって重要と考え、申請者は2021年4月に研究会を立ち上げた。医師（精神科、小児科、産婦人科、内科）、看護師、養護教諭、放課後児童クラブ職員、大学教員、音楽療法士、児童養護施設職員、精神保健福祉士といった多職種メンバーで運営し、オンラインでの講演会を定期開催し、多職種で学びを深め合い、活発な質疑応答を行っている。また、当事者の視点を大切に、子どもの声・想いがきこえてくるような講演を目標にし、現場で活動している関係者を中心に講演を依頼している。これまでに、全国各地から計3,000名以上の参加があり、こうした多職種での学習会の重要性、ニーズを強く感じている。

2023年度には、本事業の第1回目として、福井大学 文京キャンパスで、「Another Morning Festival 2023 in Fukui ～ 子どもたちの医療、教育、福祉、芸術をみつめて、行動する～」を対面イベントとして開催した。医療機関（精神科、小児科、看護師、心理士、ソーシャルワーカー）、教育機関（学校教諭、養護教諭、特別支援学校、教育委員会）、福祉機関（児童相談所、児童養護施設、放課後児童クラブ）、法務省、学生団体、自助グループなどといった施設から、計80名が参加した。様々なテーマの講演会で学びを深め、質疑応答をして交流を深めた。また、特別支援学校の子どもの作品展示・販売、就労支援事業所の製品販売、障害をもつ当事者グループによるコンサートを行った。

2024年度の第2回目では、企画をさらにパワーアップさせ、子どもたちのステージ、支援団体によるブース出展・啓発活動、講演会・座談会イベントを行い、地域住民の芸術を楽しむ場・余暇活動を楽しむ場を作るとともに、多職種で学びを深め合う場を作り、計370名以上の参加があった。県内6大学すべての教員による講演も実施し、大学間連携にも大きく貢献した。

事業の内容および成果

<事業の内容>

講演会：子どもたちの医療・教育・福祉・芸術など様々な分野に関わる支援者による講演を実施した。

ステージ：子どもたちによる音楽、ダンス、演劇、ファッションショーなどを実施した。

ブース出展：子どもの支援に関わる諸団体によるブース出展、大学の部活・サークルによる作品展示を実施した。

<事業の成果>

- ・地域の子どもから大人まで多くの来場があり、芸術を楽しむ場、余暇活動の場、学びの場を作ることができた。
- ・参加者それぞれが、子どもに関する様々な分野について学びを深め、各職場での実践に役立てることができる足掛かりを作ることができた。
- ・支援者同士が交流を深め、「顔の見える」関係になることで、他機関との連携など日々の業務がよりスムーズになり、結果的に子どもたちにとって大きな利益となる。
- ・ステージ発表、作品展示を行い、子どもたちが輝く場をつくることで、自尊心の向上、心身の健康を高めることを目指した。また、参加者に、子どもたちの輝き・強さを感じてもらう機会を作ることができた。

参考文献・添付資料および特記事項等

イベントフライヤー

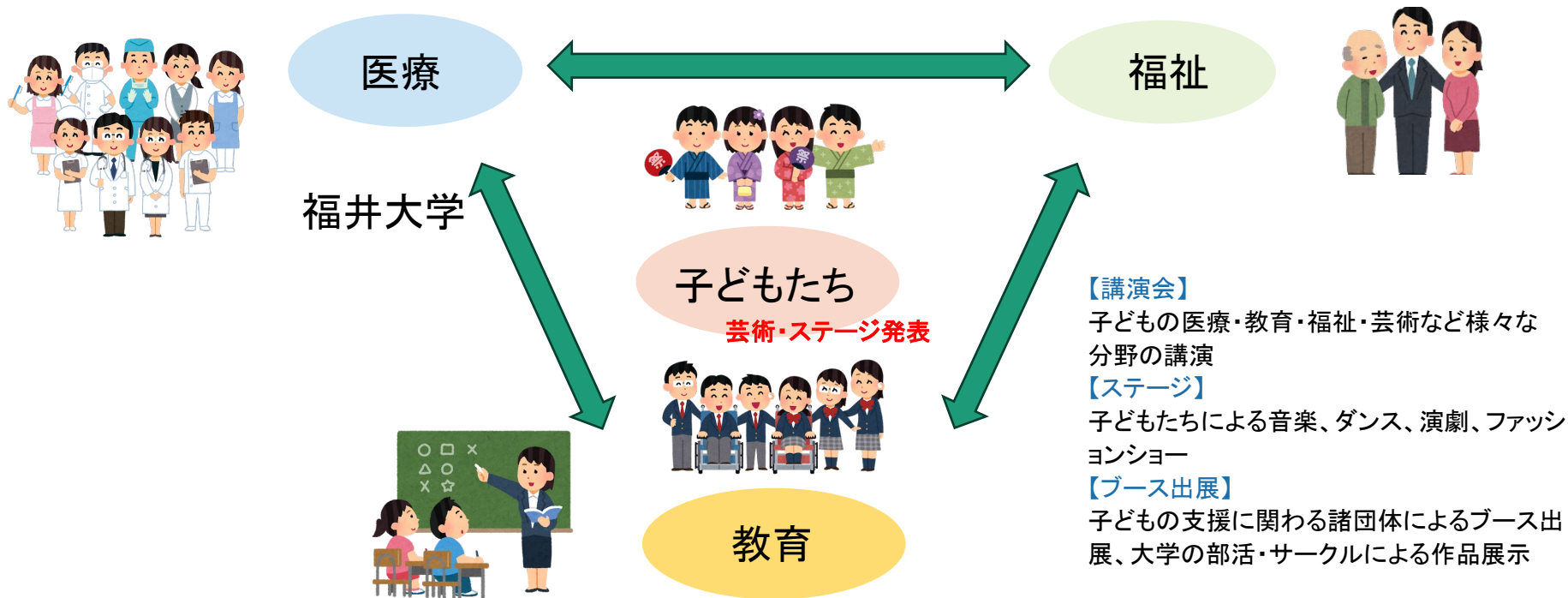
事業名称: Another Morning Festival 2025 in Fukui

- 子どもたちの医療・教育・福祉・芸術をみつめて行動する -

事業責任者： 福元進太郎（医学部・助教）

- ・2025年11月29日、30日の2日間、福井大学 文京キャンパスで、「子どもたちの医療・教育・福祉・芸術」をテーマにしたフェスティバルを開催
- ・1日目は、子どもに関わる多職種の支援者による講演会を実施し、職種や職場の垣根を超えて様々な分野について学びを深め合った
- ・2日目は、子どもから大人までだれでも参加できるイベントで、子どもたちによるステージ(音楽、ダンス、演劇、ファッションショー)、子どもの支援に関わる諸団体によるブース出展を行った

【関連キーワード】子ども、医療、教育、福祉、芸術、多職種連携、多機関連携



- ・地域の子どもからおとなまで、芸術を楽しむ場、余暇活動の場、学びの場を作ることができた。
- ・参加者それぞれが、子どもに関する様々な分野について学びを深め、各職場での実践に役立てることができる足掛かりを作ることができた。
- ・支援者同士が交流を深めて顔の見える関係になり、他機関との連携などがよりスムーズになり、結果的に子どもたちにとって大きな利益となる。
- ・子どもたちが輝く場をつくることで、自尊心の向上、心身の健康を高めることを目指した。参加者に、子どもの輝き・強さを感じてもらえた。

子どもたちの医療・教育・福祉・芸術をみつめて行動する

LECTURE

2025 11.29 SAT

10:00-16:30



申し込み

大会長 | 福元進太郎 (福井大学 医学部 精神医学) / 前之園ゆりか (児童養護施設 一陽)
主催 | Another Morning Festival実行委員会 (福井大学 医学部 精神医学教室内)
お問い合わせ | another.morning.festival@gmail.com
福井大学地域貢献事業支援金から一部助成
未来協働プラットフォームふくい推進事業 (福井県補助金) から一部助成



Another Morning Festival

入場無料 一定員 200名

※先着順・要申込
※お子さんと一緒に参加大歓迎です

福井大学 文京キャンパス

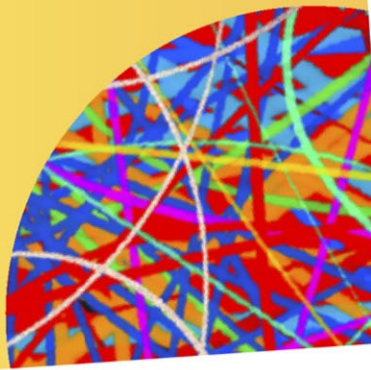
Illustration | 岩佐しおり (福井工業大学附属福井高校)

9:30 受付開始

10:00 開会の挨拶

福元進太郎 (福井大学 医学部 精神医学)

Another Morning Festival



10:10 AIが拓くインクルーシブ教育の未来
-10:30 ーすべての子どもたちの可能性を広げるAI学習支援アプリの研究開発

田濃一翔 (福井大学大学院 工学研究科 博士前期課程 知識社会基礎工学専1年)
青木愛一郎 (福井大学 教育学部 学校教育課程4年)
安倍誠明 (福井大学大学院 工学研究科 博士前期課程 産業創成工学専攻1年)

10:30 非行からの立ち直りのためのアセスメントと支援
-10:50 近藤淳哉 (福井少年鑑別支所長)

10:50 モーズレイの光～私が精神科医になったときの不思議な体験～
-11:10 眞田陸 (福井大学 医学部 精神医学)

11:20 新しい家族のカタチ
-11:40 小林章一 (福井県里親会)

11:40 “不登校”私を選んだ道
-12:00 大川はるな (フリータレント)

2025 **11.29** SAT

12:50 「わたしはわたし」の境界線 (バウンダリー) が守る、子どもの暮らしの安全と多様性
-13:30 ~バウンダリー×子どもの権利×ソーシャルワーク
鴻巣麻里香 (非営利団体KAKECOMI代表/福島県スクールソーシャルワーカー)

13:30 ことばをこえてつながる：外国ルーツの子どもたちと私たちのまなび
-13:50 半原芳子 (福井大学連合教職大学院)
ケリー・キング (福井大学国際地域学部)

13:50 子どもたちの幸せを育むポジティブ教育
-14:10 塚田孝子 (福井県教育総合研究所 教育相談センター)

14:20 「みんなで舞台に立とう」の20年がもたらしたもの
-14:40 酒井晴美 (「みんなで舞台に立とう」を広げる会 代表)

14:40 医療的ケア児=こども
-15:00 飯村紫帆 (一般社団法人医療的ケアPPS.lab)

15:00 「適応」という観点から行動を考えると見えてくること
-15:20 藤岡徹 (福井大学 教育学部)

15:30 あなたの現場でも使えるかも！～子どもと大人をつなぐボードゲーム実践例～
-15:50 川口洋一郎 (ちゃがらがゲームズ)

15:50 みんなで考えよう！知的障害のある人の恋愛を取り巻く現状
-16:30 門下祐子 (京都教育大学 総合教育臨床センター)

16:30 閉会の挨拶

松尾あずさ (福井大学 地域連携推進課)

プー ス 出 展

福井県立嶺北特別支援学校ベアガーデン

特定非営利活動法人くまっこクラブふくい

社会福祉法人かすみが丘学園 ワークかすみ ハーモニークすみ

交流会

※17:30終了予定

2024.11.30 SUN 10:00-16:00 入場無料

子どもたちの

の医療・教育・福祉・芸術をみつめて行動する

STAGE

BOOTH

FOOD

福井大学 文京 キャンパス



遊びに来てね!!

Another Morning Festival

Illustration | 東本美咲 (福井工業大学附属福井高校)

多様な人の存在と前を向く勇気を花に重ね、“独りじゃない”と感じられる絵を描きました。

福井市文京3-9-1

大会長 | 福元進太郎 (福井大学 医学部 精神医学) / 前之園ゆりか (児童養護施設 一陽)

主催 | Another Morning Festival実行委員会 (福井大学 医学部 精神医学教室内)

お問い合わせ | another.morning.festival@gmail.com

福井大学地域貢献事業支援金から一部助成

未来協働プラットフォームふくい推進事業 (福井県補助金) から一部助成





アカデミーホール

Another Morning Festival

2025 11.30 SUN



教育系1号館

10:00-10:20

はぴりゅー

放課後教室Together

簡単にできる実験(レモン汁やリトマス紙を使った実験)を大学生と一緒に手を動かしながら楽しみましょう!

Smile No.1

去年結成したアーティスト集団を再結成!今回も参加型のライブペインティングをするので、皆さんぜひ一緒にどうぞ!

10:30-10:45

「みんなて舞台上に立とう」を広げる会

坂井市地域活動支援センター ノクステクノスタイル

誰もが仲間!eスポーツで広がる温かいコミュニティ。みんなと一緒にカーレースゲームをしよう!

福井大学 将棋部

将棋の遊び方を学んで友達と一緒に楽しもう!初めての人も腕に自信がある人も大歓迎!

10:55-11:10

YUUKI

ArtConnect

作って奏でよう!!ワクワク工作楽器。ペットボトルやダンボールなど身近にあるものから楽器を作って演奏してみよう!!

こどもアート

酒井化学さんから講師をお呼びして開催している絵画教室です。酒井化学さんの製品を使って、バックや模様を描いています。

11:20-11:35

ゆーりんバンド

ちゃがちゃがゲームズ

子ども大人も楽しめる♪ボードゲーム無料体験コーナー!

福井大学漫画研究会

さまざまな画材でお絵描き体験が出来ます。また、部誌や色紙の展示もあります!

11:45-12:00

啓新高等学校 ファッションショー

福井大学医学部管弦楽団

福井大学医学部管弦楽団です!ブースで楽器体験やっています!弦楽器を触ってみよう!

てみかる ユース福井

キーホルダーづくりやVR体験、「こみかるがちゃ」やおしゃべりも楽しめるブース!

12:30-13:00

ドラム・ダンス・エクスポーショ

だれでも参加大歓迎!
一緒にタイコをたたこう!

>> LET'S PLAY <<



まぜテクス

VR空間でお絵描きにチャレンジ!VRゴーグルを装着して、テクノロジーアートを楽しむことができます。

福井折り紙サークル

折紙の展示と体験コーナーを用意しています。是非、遊びに来てください。

13:10-13:20

Try! Sky! High!

啓新高等学校 ファッションデザイン科

舞台衣装で心が踊り、缶バッジで創造爆発!アートとファッションが融合する体験型ブース

YORIDO(ヨリド)ー

「ひとり親家庭支援」を通じて、社会課題に向き合いながら視野を広げ、「社会起業」を学ぼう!

13:30-13:45

Rion

福井大学 医学部邦楽部

お箏でJ-POPやジブリを演奏してみよう!初心者や小さなお子さん也大歓迎です。ブースでお待ちしています。

福井県摂食障がい支援拠点病院

支援情報などパネルで紹介!10/31~12/3県立図書館で「楽しく食べる」を取り戻す本棚を同時開催!

13:55-14:10

ハスの実の家

BonBon株式会社

AEDiverは、「胸骨圧迫」と「AEDを探す」をテーマにした、2人協力型のリズムゲームだ!

劇団【プラム】/認定NPO法人福井県子どもNPOセンター

中高生劇団 劇団【プラム】のこれまでの上演作品台本や衣装、写真などの展示、上演作品動画も公開!

14:25-14:45

劇団【プラム】

公益財団法人 ふくい女性財団

『知っていますか?DVのこと』DV防止啓発のためのパネル展を行います。お気軽に質問してください!

NPO法人ふくいのこどもホスピス

闘病中の子どもたちと製作したジグソーパズル遊びなど、私たちの普段の活動についてご紹介します。

14:55-15:05

Quennie Jales

福井大学医学部美術部

部員の作品を展示しています。是非ゆっくりとご鑑賞していただき、お好きな作品を見つけてみてください!

特定非営利活動法人くまっクラブふくい

くまっの仲間たち(生活介護、放課後等デイサービス)が、「おしごと」で織っているさよこ織グッズです。ぜひご覧ください。

15:15-15:30

Nerveless



FOOD 教育系1号館

NPO法人まちぜん青少年自立援助センター ラグハウス
地元産手打ちそばが味わえる喫茶店。塩だしと醤油だしの「コンビ」がお勧め。今回は評判の塩だしで食べて頂きます!株式会社越前隊
福井県伝統薬味「山うに」のたこ焼き

15:40-15:55

Another Morning Orchestra

福井県立嶺北特別支援学校ベアガーデン
福井県「ふくこむぎ」や自家栽培野菜を使った焼き菓子やパンを製作。リサイクル素材のペーパーバックも手作りしています。ラサ サヤン
ラサ サヤンとは、マレーシア語で「愛を感じる」。マレーシアの料理を通して、国境を越えた心の通い合いを願って。ハスの実の家
障害のある仲間と一緒に国産小麦や天然酵母など材料にこだわったパンやお菓子を製造しています。クラフトコーラ
天然素材で手づくりしました。スパイス香る特製クラフトコーラ!

福井市空き家情報バンク魅力向上プロジェクト

事業責任者： 菊地 吉信（工学研究科建築建設工学講座・准教授）

代表学生： 水野 峻輔（工学研究科安全社会基盤工学専攻・博士前期課程2年）

概要	福井市における空き家の利用拡大に貢献するため、福井市空き家情報バンク掲載物件について学生の提案力を生かした魅力的な利用提案に取り組んだ。福井市では平成19年度から空き家情報バンクを運営している。本事業は前年度からの継続であり、学生の柔軟で新しい発想により空き家情報バンクの利用拡大策や登録物件の魅力を効果的にPRする情報発信の方法を提案する。実施期間中に2件の空き家を対象とした実測調査ならびに利用イメージ図等の作成を行い、その成果は福井市空き家情報バンクのサブサイトとして一般公開された。
関連キーワード	空き家、空き家情報バンク、福井市、住環境

事業の背景および目的

福井市は、民間市場に流通していない空き家が老朽し使用不能になる前に流通につながるよう、平成19年度から空き家情報バンクを運営している。しかし、空き家所有者の認知度が低く利用拡大が課題となっている。

そこで本事業は、福井市における空き家の利用拡大に貢献するため、空き家情報バンク掲載物件について学生の提案力を生かした魅力的な情報発信を行うことを目的とする。

本事業は前年度からの継続であり、学生の柔軟な発想により空き家情報バンクの利用拡大や登録物件の魅力を効果的にPRする情報発信の方法を提案する。具体的には、空き家情報バンク掲載物件の現地調査、提案プラン作成、福井市サブサイト掲載を行う。また、前年度事業の効果分析とそれに基づく改善を講じることにより、情報発信方法の向上をはかることも今年度の目的の一つとする。

事業の内容および成果

福井市住宅政策課と連携し、同市空き家情報バンク掲載物件の中から所有者および管理者の同意が得られた2物件を対象として、実測調査ならびに利用イメージ図等の作成を学生主体により行った。

主な成果として、参加学生にとっては実践的な課題に取り組むことにより高い教育効果が得られるとともに、地域課題に対する理解を深めることができた。

また前年度に作成しサブサイト¹⁾に掲載した3物件については、令和7年2月～12月の期間でそれぞれ829回、915回、1,141回のアクセスを獲得した。

空き家問題に対する社会的関心は高く、その解決に向けて本学学生の取組みが一定の貢献を果たすことができたと考えている。

今後の課題として空き家情報バンク利用者の情報ニーズを把握することが挙げられ、そのために不動産事業者等の調査を行うことが望ましい。



福井市空き家情報バンクサブサイトと利用イメージ図（一部）

参考文献・添付資料および特記事項等

1) 福井市空き家情報バンクのサブサイト：

<https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/jutaku/akiyataisaku/bankmiryoku.html>

事業名称：福井市空き家情報バンク魅力向上プロジェクト

事業責任者：菊地 吉信（工学研究科・准教授） 代表学生：水野 峻輔（工学研究科安全社会基盤工学専攻・博士前期課程2年）

概要

本事業は、福井市における空き家の利用拡大に資するため、福井市空き家情報バンク掲載物件について学生の提案力を生かした魅力的な利用提案に取り組むもので、前年度からの継続事業である。福井市では平成19年度から空き家情報バンクを運営しており、利用拡大が課題となっている。そこでバンク登録物件の魅力を実効果的にPRする情報発信に貢献すべく、今年度内に2件の登録物件を対象として実測調査ならびに学生の柔軟な発想による利用イメージ図等ウェブ掲載素材の作成を行った。その成果は福井市空き家情報バンクのサブサイトとして一般に公開された。

(参考) 福井大学建築学生コラボ 福井市空き家情報バンク魅力向上プロジェクト(福井市空き家情報バンクサブサイト)
<https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/jutaku/akiyataisaku/bankmiryoku.html>

ホーム > くらし > 住宅・土地 > 空き家対話 > 福井大学建築学生コラボ 福井市空き家情報バンク魅力向上プロジェクト

最終更新日：2025年2月7日

福井大学建築学生コラボ 福井市空き家情報バンク魅力向上プロジェクト

目次 [非表示]

- ・ 空き家情報バンクとは
- ・ 学生の提案
- ・ 取組風景の紹介

福井大学の建築学を専攻する学生が、空き家情報バンク登録物件の活用イメージやリノベーションイメージを提案し、空き家活用の魅力をPRします。

■ 空き家情報バンクとは

[福井市空き家情報バンク](#)

[福井市空き家情報バンク 物件情報一覧](#)

■ 学生の提案

年度	No	学生の提案 内容	登録番号
R6	1	提案物件1 鹿保（かなまた）のお家	2311-007
R6	2	提案物件2 片粉（かたかす）のお家	2407-004
R6	3	提案物件3 月見5丁目のお家	2409-002
R7	4	提案物件4 田ノ谷町のお家	2404-001
R7	5	提案物件5 引目町のお家	2405-009

■ 物件を見た学生の感想を見てみよう

広い庭付きなので、ウッドデッキをつつたり、家庭菜園を楽しんだり、好きなようにアレンジできるのも大きな魅力です。DIYが趣味な方はもちろん、都会を離れて自然豊かな場所で暮らしたい移住者の方にもおすすめです。

[1階平面図]



[2階平面図]



● 居間と台所の間にあった壁をなくし、皆が集まれる広いDKにしてみました



● 2階の居住者が集える交流スペースを作ってみました



福井市空き家情報バンクサブサイト 掲載内容(一部)

足羽山ランタンナイト

事業責任者：西本 雅人（学術研究院工学系部門 准教授）

代表学生：吉田 憲人（大学院工学研究科2年）

概要	「学生のアイデアを生かした地域協働イベントによる賑わい創出」
	本取組は学生・地域住民が協働、事業者・行政と連携し地域振興イベントを実施するものである。令和5年度、6年度足羽山ワークショップで作られたランタンと、地域課題である繊維端材の利活用による地域賑わい創出を目指し開催。イベントでは煌びやかなランタンの灯りと体験型ワークショップ等を提供、約1000名が来場した。翌日の新聞1面にも取り上げられ、参加者からは本取組に対し非常に良い反応を頂き、地域交流・賑わいに寄与。次年度の開催も期待されている。
関連キーワード	地域振興、賑わい、交流、ランタン、商品開発

事業の背景および目的

・事業の背景

福井県の足羽山地域は、市街地から近く、歴史的な建造物や史跡が多く残り、「街中であって自然が残る山」として市民に親しまれてきた一方で、来訪者層の高齢化や地域の象徴であった「桜の木」の老朽化によって、かつての賑わいが薄れてきているという課題を抱えている。この課題に対して、足羽山事業者から大学への働きかけをきっかけとし、福井大学の学生、教員、職員及び足羽山事業者が連携する「足羽山をバズらせるプロジェクト」が発足し、足羽山の自然や歴史との相性の良い「ランタン」をアイコンとした「足羽山ランタンナイト」というイベントを令和5年度、6年度に実施した。また、令和6年12月には、「足羽山学生サミット」を開催し、上記プロジェクト関係者に加えて、福井県立高等学校探究特進クラスの生徒、福井市・福井県の行政関係者が参加。「若者の県外流出防止」や「地域コンテンツの魅力発信」としての役割を担う活動として注目が集まり、本取組の社会的意義が高まっている。「事務局企画力向上プロジェクトチーム」の解散に伴い、令和7年度は、本プロジェクトの学生メンバーが立ち上げた公認サークル「地域探究活動 Lab.」（在籍学生数40名）が理念と活動を継承。西本教員（工学部建築学科）指導の下、地域住民、事業者、福井市、福井県との連携をより強固にし、イベントを開催した。

・事業の目的

学生アイデアでの地域協働イベント開催による賑わい創出

事業の内容および成果

成果(内容)①地域協働製作

高校生・地域住民の方と共に繊維端材等を再利用したオブジェクト及び設置型ランタンを製作。協働して取り組むことで地域(産業)課題の認識と、達成感の創出を目指した(イベント当日に展示)。

成果(内容)②賑わい創出に向けた企画

家族(子供)が楽しめる体験(コンテンツ開発)、飲食(キッチンカー)など企画・実施。若者・観光客だけでなくご年配の方やご家族も来訪できるイベントを企画し、地域へ浸透・好循環を生み出した。

(結果として1000名を超える来場客があった)

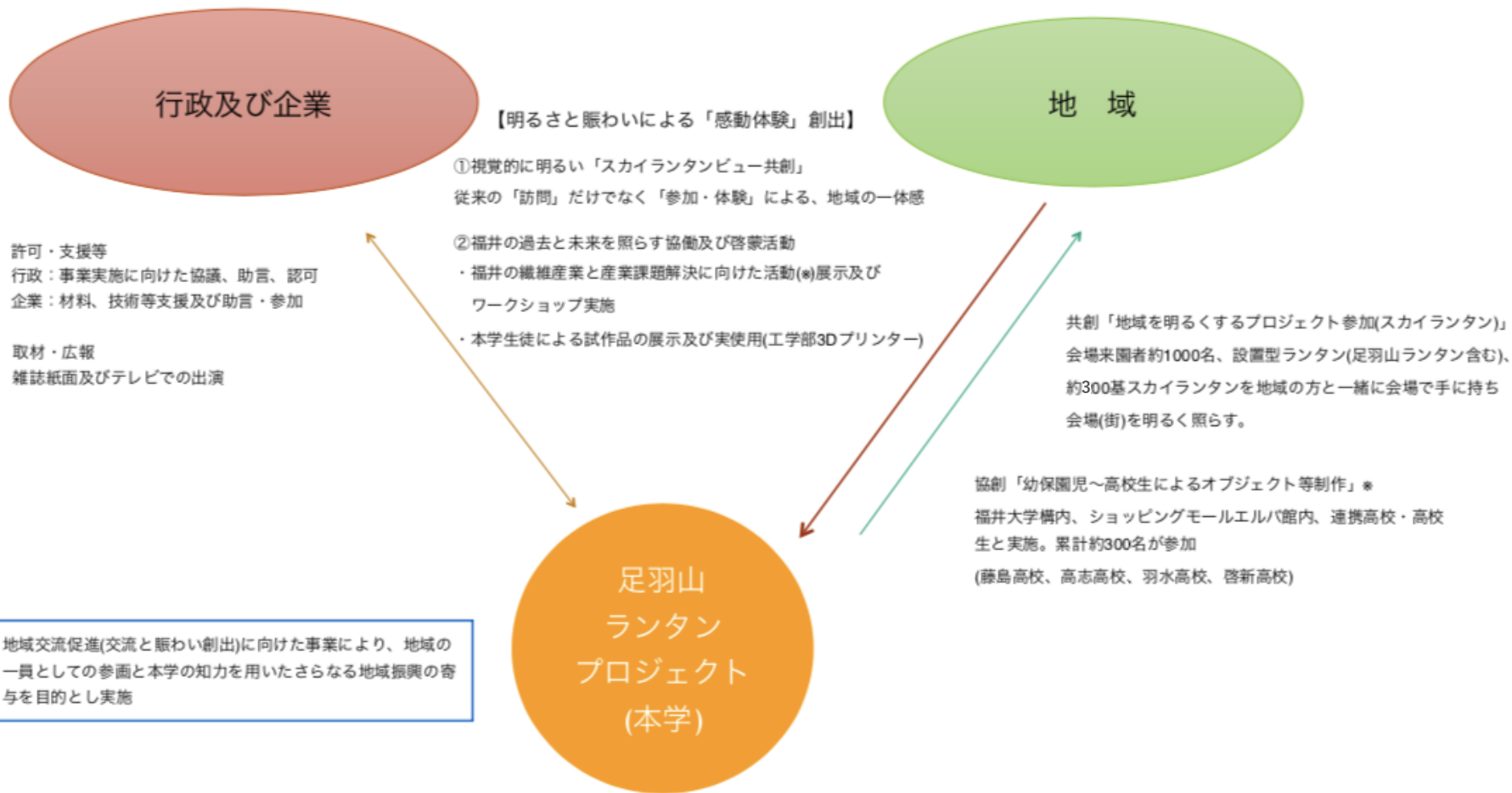
成果(内容)③イベント開催に伴う広報・来場者数及び今後の見通し

SNS等を活用したプロモーションを実施。結果、目標としていた1000名規模のイベントが実施できた。さらなる事業発展のため、地域ファンづくりと再訪を促す取り組みを次年度に引き続き検証していく。

参考文献・添付資料および特記事項等

事業名：足羽山ランタンプロジェクト

事業責任者：西本雅人（学術研究院工学系部門 准教授） 代表学生：吉田憲人（大学院・2年）



開催結果

参考資料

効果	来場数	1 2 0 0 人
	スカイランタン数	2 0 0 基
	設置型ランタン数	3 0 0 基
報道	福井放送(FBC)	1分30秒
	福井新聞紙面	9/27社会面 10/12一面
	Ready for	達成(30万円)
その他	ボランティア	当日41名(累計125名)
	応援メッセージ	133件
	ご協賛数	23社(後援含む)
連携校 (運営参加生徒含む)	藤島高校	
	高志高等学校	
	羽水高等学校	
	啓新高等学校	
閲覧数	約23万/月	
男女比	約3:7	

・ SNSによる広報結果



Instagram Fukumin.fukui

→地域住民の参加と産業(企業)協創、本学生徒と県内若者の共創を実現

当日の様子

参考資料



第5回 KUHUU 展「凸凹」

事業責任者： 西本 雅人（工学部・建築都市環境工学科・准教授）

代表学生： 森田 慶助（工学研究科・安全社会基盤工学専攻・博士前期課程2年）

概要	<p>福井大学大学院の学生による建築作品の模型や図面、ドローイングの展示会です。開催日は2025年12月6日～8日の3日間で行いました。展示内容は今年度にコンペに出展し、入賞した作品や卒業設計を展示しました。また福井県坂井市でアーティスト活動を行う YU-KI 氏とコラボレーションした絵画の展示や、来場者が展示に参加できるワークショップ企画も実施しました。</p> <p>また KUHUU 展という展示会活動は、企画、広告、展示空間の設計、施工、そして運営の全てを学生のみで行っていることが最大の特徴であり、今回も11人のメンバーで全てを行いました。</p>
関連キーワード	展示会, 建築作品, ワークショップ, コラボレーション

事業の背景および目的

・事業の背景

大学で建築を学ぶ私たちが普段、授業や課外活動として取り組んだ建築作品は実際に建つことはなく、架空のまま終わってしまいます。そんな学生の建築作品が社会と繋がるきっかけとなる場を作りたいと考えました。また現在福井市は再開発の真っ只中にあり、町の様相が大きく変化している中でこれからの建築の在り方について老若男女が、議論したり考えたりできる場が必要です。

・事業の目的

普段私たちは、建築設計を通して地域の調査・探求及び魅力的な建築を模索しています。展示会を通して私たちの作製した模型や図面を展示することによって、建築や地域に対しての考えや活動を発信します。展示会をきっかけに様々な方と出会い、私たちの活動が少しでも地域の企業や人々に知ってもらったり、私たち自身の成長につながったりすることを期待しています。

事業の内容および成果

第5回目となる KUHUU 展のテーマは「凸凹」で、建築を介して様々な分野の方と交流し、新しい視点や気付きを得ることを目的として実施しました。異種分野との交流の一環として、絵画アーティストの YU-KI 氏とコラボレーションし、会場のいたるところに絵画を展示しました。また「絵で壁をつくるワークショップ」も行い、地域の人々とともに展示を作り上げるという活動も行いました。

12月6日～8日の3日間に渡り開催し、3日間で合計約150人の方にご来場いただきました。建築家や医療関係者、古着屋の店長、子供連れなど様々な分野の方に来ていただくことができ、当初からの目的であった、分野を超えた交流を果たすことができました。中には全国で活躍する著名な建築家ユニット o+h のお二方にも来ていただき、第5回目にして展示会として大きく成長できました。



写真1 展示会風景



写真2,3 コラボレーション展示とワークショップ



写真4 建築家ユニットo+h氏の来場

参考文献・添付資料および特記事項等

・特になし

事業名称:第5回KUHUU展「凸凹」

事業責任者：西本 雅人（工学部・建築都市環境学科・准教授）代表学生：森田 慶助（工学研究科・安全社会基盤工学専攻・2年）

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

展示会当日



3日間で約150名の様々な分野の方にご来場いただくことができました。

企画

- ・メンバー集め
- ・テーマ決め
- ・展示内容の決定

展示会を通して様々な分野の人々と対話したいという方針に決定。建築以外の分野とのコラボレーション展示やお客さんが体験できる展示内容にすることに決定。

広告

- ・フライヤー作成
- ・フライヤー配布
- ・Instagram投稿
- ・イベントサイトへの投稿



完成したフライヤー

会場什器の設計・施工



会場什器の設計案



自分たちで施工



フライヤー配布

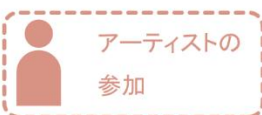
美術館やカフェ、画材店など様々な場所にフライヤーを置かせていただきました。

関係図



KUHUUメンバー

作品の出展
展示会の企画、運営、設計、施工



アーティストの参加

作品の出展

- ・協賛のお願い
- ・事業プレゼン



資金

後援

地元建築系企業

大学 ※本支援金

メディア等